

2018年度(平成30年度) アメリカ研修(12月13日～21日)

国際人文科2年生のアメリカ研修は人との交流を中心とした研修です。ホームステイ、大学・高校・小学校訪問、観光という内容です。研修はカリフォルニア州ロサンゼルス近郊のヘスペリア市を中心に行われました。ここにその様子をご紹介します。

Day 1

ロサンゼルス空港 UCLAキャンパスツアー ホストファミリーと対面



ロサンゼルス空港に到着後、UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)に移動し、現地大学生の案内のもとキャンパス内を散策。広大な敷地に圧倒されました。



夜になって、ホストファミリーと対面。それぞれの名前が書かれた大きなウェルカムボードと笑顔で生徒たちを迎えにきてくれました。サンタさんも登場し一緒に写真撮影をして各家庭へと向かっていきました。

Day 2

高校訪問 小学校訪問



ホストファミリー宅で一晩を過ごし、2日目は午前中に現地の高校を訪問しました。生徒一人ひとりに現地の担当生徒 (Buddy) が付いて、彼らの授業と一緒に参加しました。昼休みまで一緒に過ごし、交流を深めました。アメリカの学校生活を体験する貴重な時間となりました。



午後は小学校を訪問し、グループに分かれそれぞれの教室へ行き、小学生に折り紙の折り方を教えました。苦労しながらも、身振り手振りを交えたり、実際に折って見せたりしながら、日本文化を伝えました。

Day 3 - Day 4

ホストファミリーとの週末



3日目、4日目は土日で、それぞれの家庭で週末を過ごしました。たった一人でアメリカの家庭で過ごすという貴重な体験が生徒たちに大きな自信をつけさせたようです。コミュニケーションの大切さを身を持って感じたことでしょう。

Day 5

高校訪問 フェアウェルパーティー



月曜日は、再び現地の高校を訪問しました。授業参加をした後は体育館で一生懸命準備して来たパフォーマンスを披露。二人羽織、日本クイズや歌などを楽しんでもらいました。



夜は、ホストファミリーとのフェアウェルパーティーです。お世話になった家族の皆さんと、食事をしたりお話をしたり、最後の時間を過ごしました。最後にクラスで作成した日本の学校生活紹介ビデオ上映、日本文化の紹介コーナー、そして歌の披露をして会を終えました。感謝の気持ちを表現し、ホストファミリーの皆さんも喜んでくれていました。生徒たちも思う存分楽しんでいました。



Day 6

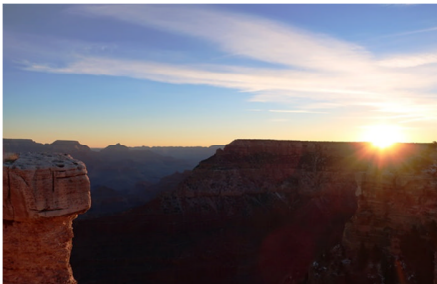
ホームステイ先 グランドキャニオン



6日目は、朝早く集合し、ホストファミリーとのお別れです。抱き合っ別れを惜しむシーンが多く見られました。その後、途中休憩をしながら約8時間かけてグランドキャニオンまで移動しました。車窓からの景色とグランドキャニオンの壮大なスケールの景色に圧倒され、人間の小ささを大自然の中で感じることができました。

Day 7

グランドキャニオン セリグマン (Route 66) ラスベガス




7日目は、グランドキャニオンの朝日を見た後、バスでラスベガスに向かいました。途中、映画「カーズ」の舞台にもなったRoute66では、高速道路の発達により廃線となりながらも、今もなおその魅力を伝え続けるセリグマンを訪れました。今では数件残るお店を見てまわる程度ですが、そこでのショッピングもまたアメリカ文化を楽しむものとなりました。ラスベガスでは、光や噴水のショーやテーマパークのような街作りなど観光客を呼び込む様々な工夫を目にすることができました。

Day 8 - Day9

ラスベガス ロサンゼルス空港 帰国

最終日は、夜中に起きて早朝出発で帰路につきます。ロサンゼルス空港を經由して無事予定時刻に羽田に着きました。

短期間ではありましたが、視野を大きく広げ新たな価値観が身についたことでしょう。

 今後はこの経験を市内の中学生にも報告し、自らグローバル教育を実践していきます。